

算数科 小学校 第2学年 十日市場小学校 評価規準

■評価の観点とその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 ・加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第2学年

A 「数と計算」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「数の構成と表し方」		
内容のまとめりごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、分類して数えたりすることができる。 ・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解している。 ・数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解している。 ・一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみることができる。 ・簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。 ・$1/2$、$1/3$ など簡単な分数について知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ものの個数を、2 ずつ、5 ずつ、10 ずつまとめて数えたり、分類して数えたりすることができる。 ・4 位数までの数について、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解している。 ・4 位数までの数について、書いたり読んだりすることができる。 ・二つの数の大小関係を「$>$」、「$<$」を用いて表すことができる。 ・4 位数までの数について、数を十や百を単位として捉えることができる。 ・一つの数をほかの数の積と捉えることができる。 ・身の回りに、整数が分類整理に使われていることを理解している。 ・$1/2$、$1/3$ など簡単な分数について知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの個数を実際に数え、図に表すなどして、十進位取り記数法の仕組みによる数の表し方を考えている。 ・4 位数までの数について、数のまとまりに着目し、数の比べ方を考えている。 ・数の相対的な大きさを捉えたり、一つの数をほかの数の積としてみたりするなど、数を多面的に捉えている。 ・12 個を 3 等分した場面などを「12 個の $1/3$ は 4 個」などと表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの個数を 10 や 100 のまとまりにして数えたり、数えたものを数字を使って書いたり読んだりしようとしている。 ・4 位数までの数について、簡潔・明瞭・的確に数えようとしている。 ・身の回りから、整数が使われている場面を見付けようとしている。
--	--	--

(2)「加法及び減法」

内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・2 位数の加法及びその逆の減法の計算が、1 位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、それらの計算が確実にできる。また、それらの筆算の仕方を理解している。 ・簡単な場合について、3 位数などの加法及び減法の計算の仕方を知っている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質について理解している。 ・加法と減法との相互関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。 ・2 位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。 ・2 位数の加法及びその逆の減法の計算を生活や学習に活用しようとしている。
---	--	--

具体的な内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・2位数の加法及びその逆の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ・2位数の加法及びその逆の減法の計算の筆算の仕方について理解している。 ・2位数の加法及びその逆の減法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知っている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質について理解している。 ・加法と減法は互いに逆の関係になっているなど、加法と減法の相互関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えている。 ・2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方と筆算の仕方を関連付けて考えている。 ・簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それをを用いて、計算の仕方を考えたり、計算の確かめをしたりしている。 ・加法と減法の相互関係について、図を基に考え、式で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。 ・2位数の加法及びその逆の減法の計算を生活や学習に活用しようとしている。 ・簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えようとしている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を用いて、計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることを通して、そのよさに気付いている。 ・加法と減法の相互関係を考察するに用いる図のよさに気付いている。
---	--	---

(3)「乗法」

内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。 ・乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ・数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
--	--	--

具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・乗法は、一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に用いられるなど、乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ・乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。 ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・交換法則など乗法に関して成り立つ簡単な性質を図を用いて理解している。 ・乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、式に表したり、乗法の式を、具体的な場面に結び付けて捉えたりしている。 ・計算の仕方を振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それを基に乗法を構成したりしている。 ・日常生活の問題や算数の問題、情報過多の問題、算数以外の教科等の問題などを、乗法を活用して解決している。 ・既習の乗法やその構成の方法を基に、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・累加の簡潔な表現としての乗法のよさに気付き、ものの総数を乗法を用いて表そうとしている。 ・一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に、乗法を用いるとその総数を簡潔に求めることができるというよさに気付き、乗法の場面を身の回りから見付け、用いようとしている。 ・累加や乗法に関して成り立つ簡単な性質を用いるなどして、乗法九九を構成しようとしている。 ・簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を発展的に考えようとしている。

算数科 小学校 第2学年

B 「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「図形」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・三角形、四角形について知っている。 ・正方形、長方形、直角三角形について知っている。 ・正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えているとともに、身の回りのものの形を図形として捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・三角形が3本の直線で囲まれた図形であることなど三角形の意味について知っている。また、四角形について知っている。 ・直角や正方形、長方形、直角三角形について知っている。 ・紙を折って、直角や正方形、長方形や直角三角形を作ることができる。 ・格子状に並んだ点などを用いて、正方形、長方形、直角三角形を作図することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直線で囲まれた図形について、他の図形との比較によって分類し、三角形や四角形などの特徴を見いだしている。 ・四角形について、角や辺に着目し分類し、正方形や長方形などの特徴を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの正方形、長方形、直角三角形が、日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。 ・正方形、長方形、直角三角形で平面を敷き詰める活動を楽しみ、できる模様の美しさや平面の広がり気付きしている。

<ul style="list-style-type: none"> ・箱の形について、3種類の長方形が2組で構成されていることなどを理解している。 ・正方形や長方形を組み合わせた、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の形について、その違いに気付き分類し、分類した箱の形の特徴を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの箱の形をしたものが、日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。 ・正方形や長方形を組み合わせるなどして、箱の形を構成しようとしている。
--	--	--

算数科 小学校 第2学年

C 「測定」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 「量の単位と測定」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位(ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m)及びかさの単位(ミリリットル(mL)、デシリットル(dL)、リットル(L))について知り、測定の意味を理解している。 ・長さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を適切に選択して測定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・量を比べたり測定したりすることに関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位(ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m))及びかさの単位(ミリリットル(mL)、デシリットル(dL)、リットル(L))と、量の大きさを単位を用いて数値化するという測定の意味について理解している。 ・測定するものに応じて、適切な長さやかさの単位を選び、身の回りの具体物の長さやかさを測定することができる。 ・1mがどれくらいの長さであるかや、1Lがどのくらいのかさであるかを、身の回りにあるものの大きさを基にして捉えるなど、長さやかさの大きさについて豊かな感覚をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・量の大きさを表現したり、比べたりする際、測定するものや目的に応じて、どの単位を用いることが適切か考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さやかさを数値に表して比べたことを振り返り、普遍単位の必要性に気付いている。 ・身の回りのものの長さやかさを測定しようとしている。
(2) 「時刻と時間」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・日、時、分について知り、それらの関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間を確認して、表したり求めたりすることに関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・時間の単位（日、時、分）について知り、時刻や時間を表すことができる。 ・時間の単位（日、時、分）の関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における時刻や時間の求め方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で必要な時刻や時間を求めようとしている。

算数科 小学校 第2学年

D 「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの活用」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを整理することに関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表すことができる。 ・身の回りにある数量を分類整理して表した簡単な表やグラフを読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象について、簡単な表やグラフに表すことで、差の大小や全体の傾向について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの整理に関わり、数量の大きさの違いを一目で捉えることができるなどの、グラフのよさに気付いている。